



SDGs講演

持続可能な心のエネルギー

2022 5/9

小野優太郎 地域おこし協力隊 ゼロカーボン推進員

1991年生まれ 宮城県名取市出身

2017年 東北大学大学院
環境科学研究科卒

同年 ENEOS入社
プラントエンジニアとして
製油所管理を実施

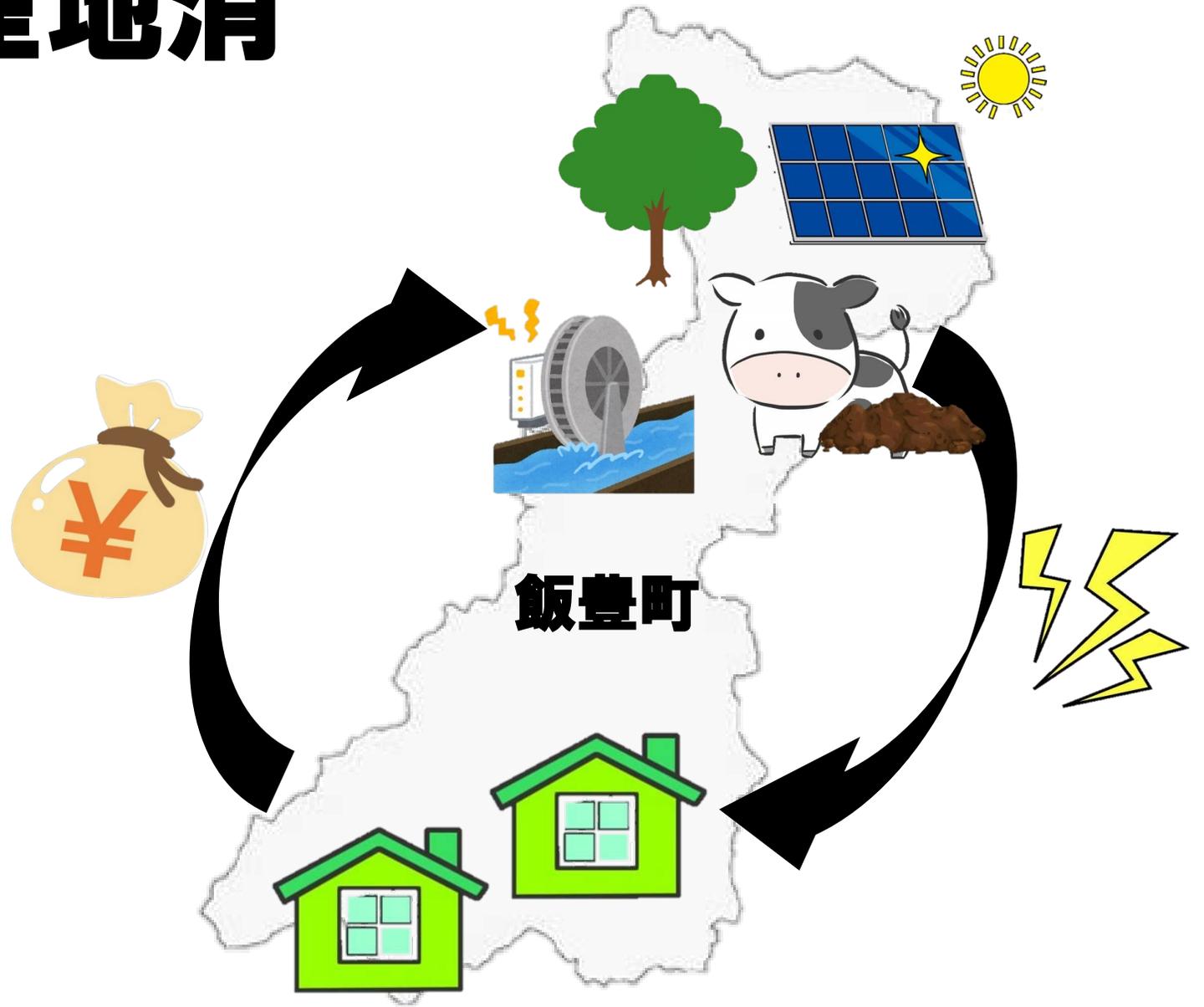
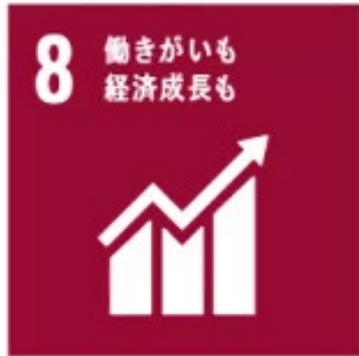
2021年 地域おこし協力隊としてJターン



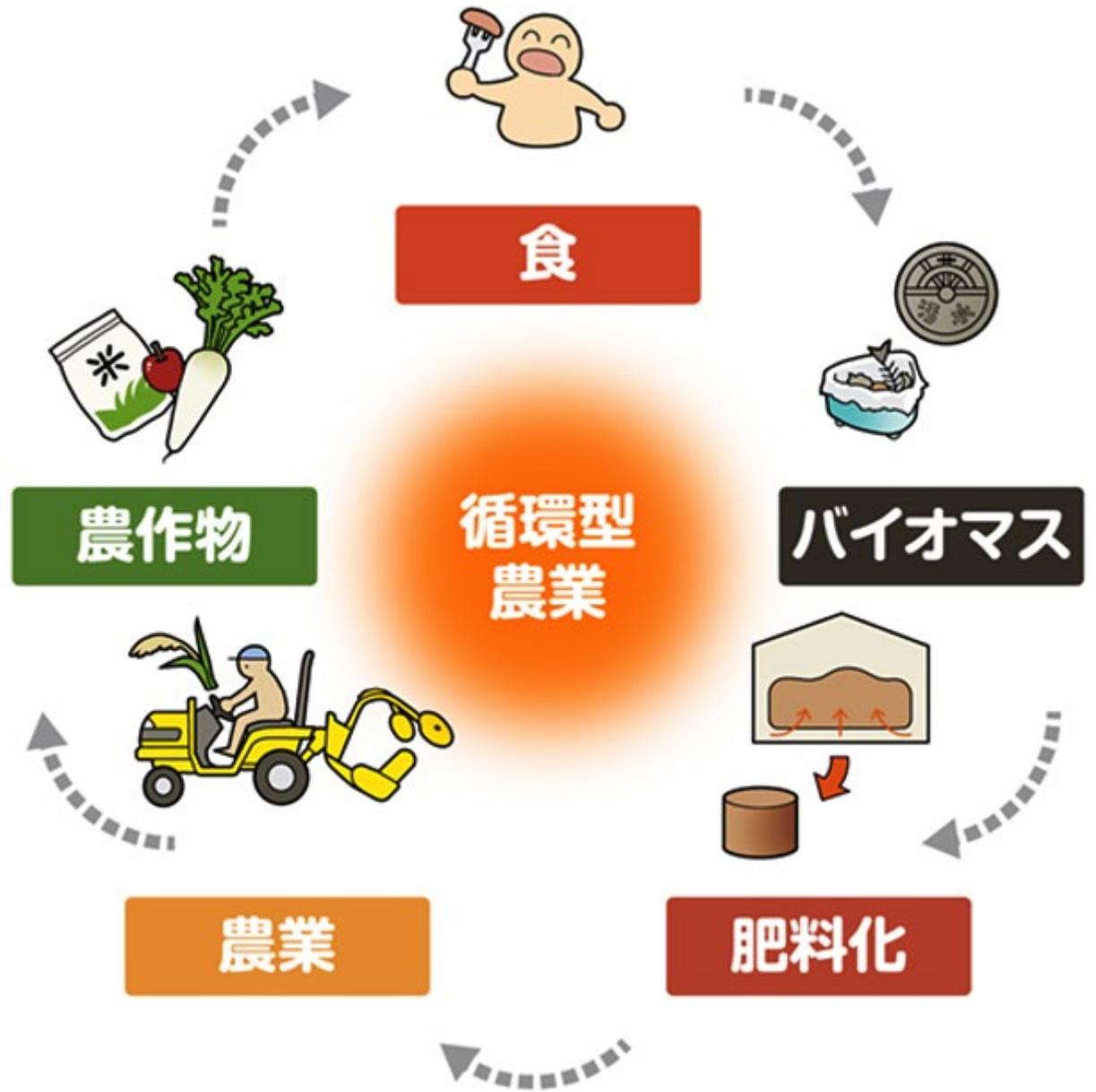
SDGsとは??



エネルギーの地産地消



循環型農業



A person is captured in mid-air, jumping joyfully with arms raised, against a vibrant sunset sky filled with golden and blue clouds. The scene is overlaid with a semi-transparent white horizontal band containing the Japanese text '心の持続可能性' in a bold, blue, sans-serif font.

心の持続可能性

**少しだけ過去を
振り返ってみましょう！**

**どんな時に楽しく、満足感を感じて、
どんな時に、不満を感じていたか
思い返してみてください！！**

例えば、、、不満を感じるとき





心のエネルギーが低い、

他人に決められているから

自分の心 ≠ 行動

例えば、、、満足感を感じるとき



例えば、、、満足感を感じるとき

大学合格



例えば、、、満足感を感じるとき

大学合格



勉強内容
勉強時間

例えば、、、満足感を感じるとき

大学合格

自分が優先して取り組み
たいことが明確になる
⇒主体性



勉強内容
勉強時間

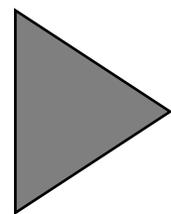
A person is shown in silhouette, jumping joyfully with their arms raised in the air. The background is a bright, golden sunset or sunrise over a body of water, with a sky filled with soft, white and orange clouds. The overall mood is one of happiness and high energy.

心のエネルギーが高い

自分で決めているから

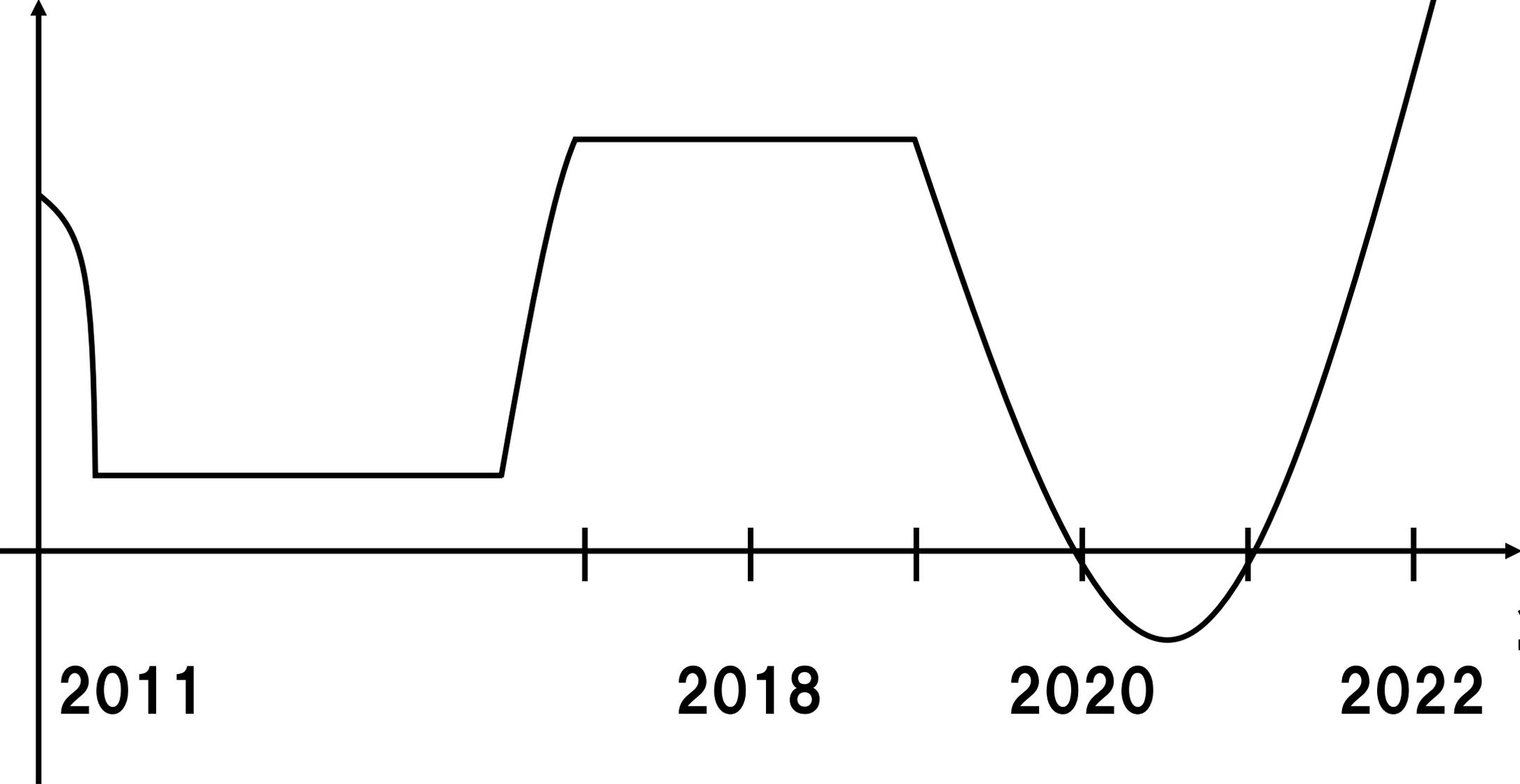
自分の心 = 行動

**そのために
自分の心と向き合って
行動に移すための
目標設定をすることが大事！**



高い心のエネルギー

心のエネルギー



2011

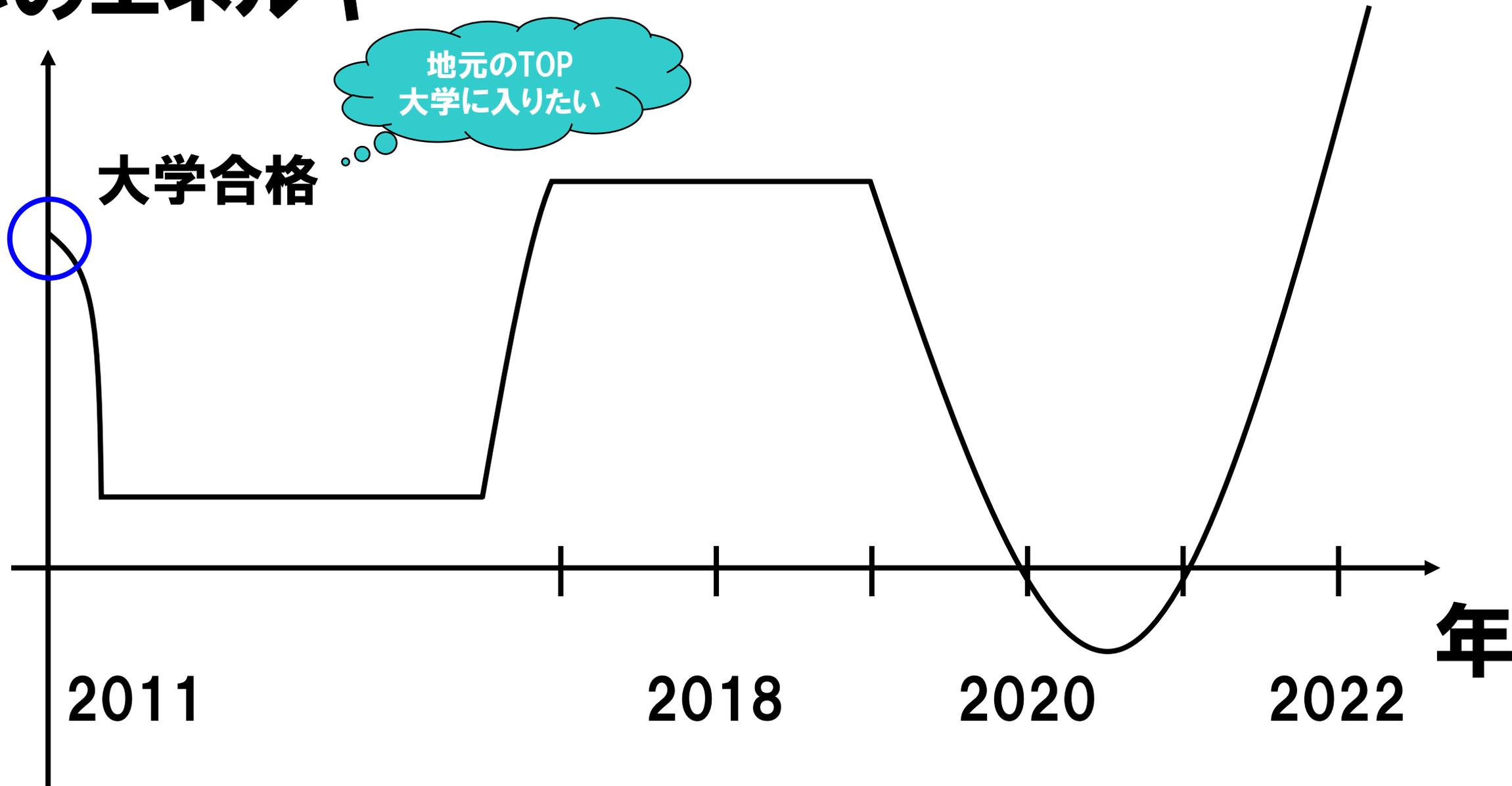
2018

2020

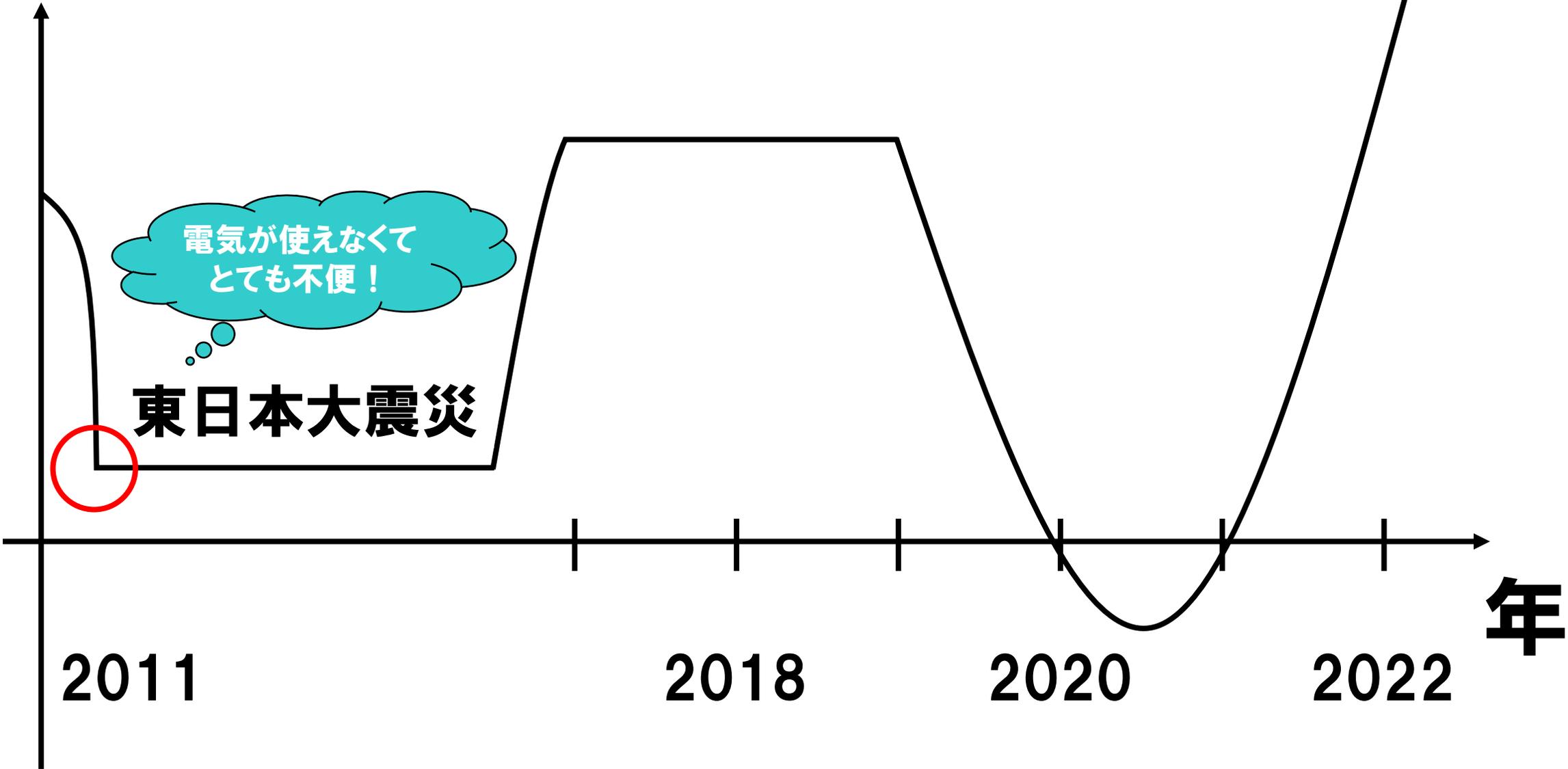
2022

年

心のエネルギー



心のエネルギー



電気が使えなくて
とても不便!

東日本大震災

2011

2018

2020

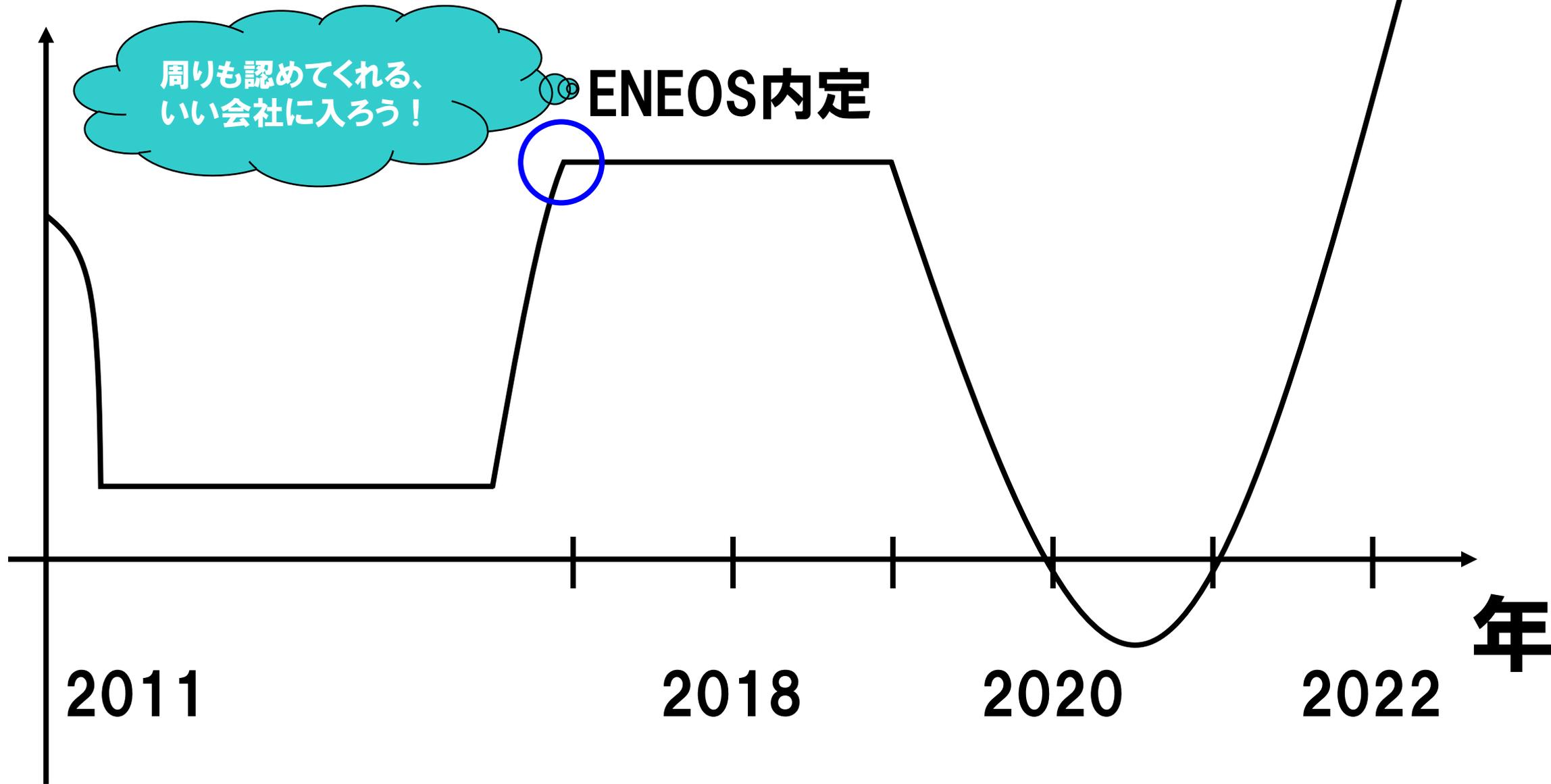
2022

年

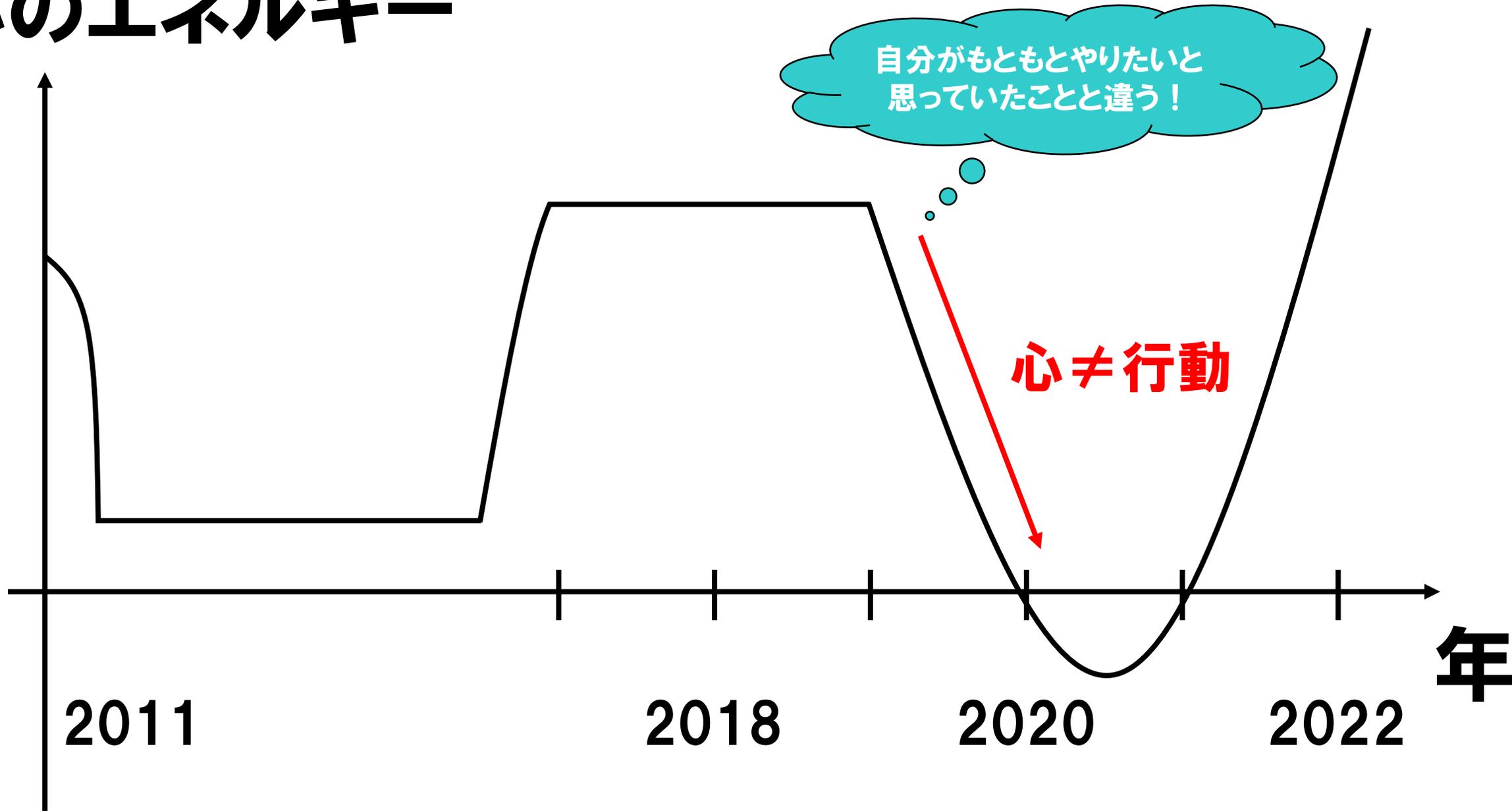
10年前に設定した長期的な目標

**レジリエンスの高い町
をつくりたい！**

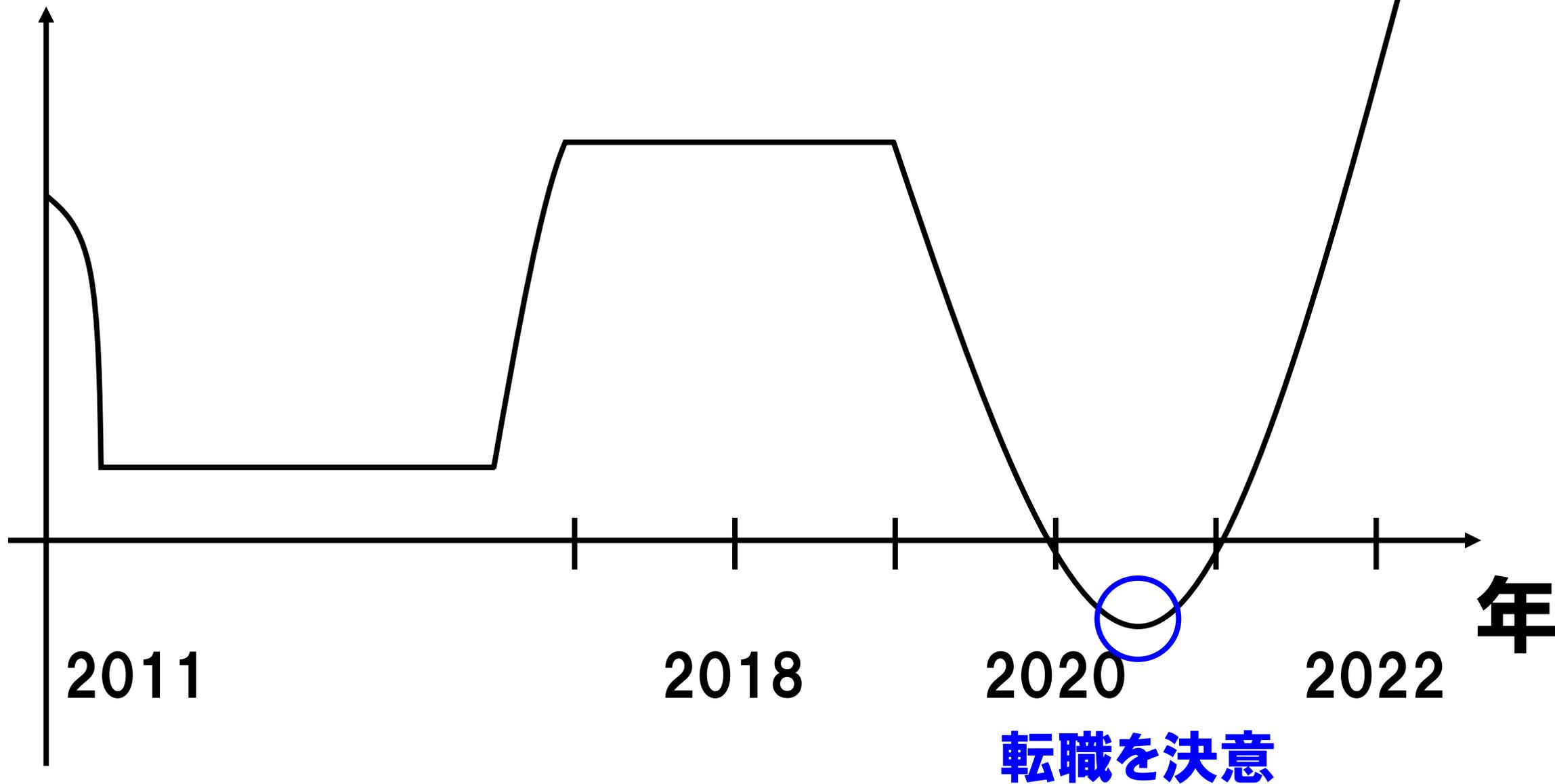
心のエネルギー



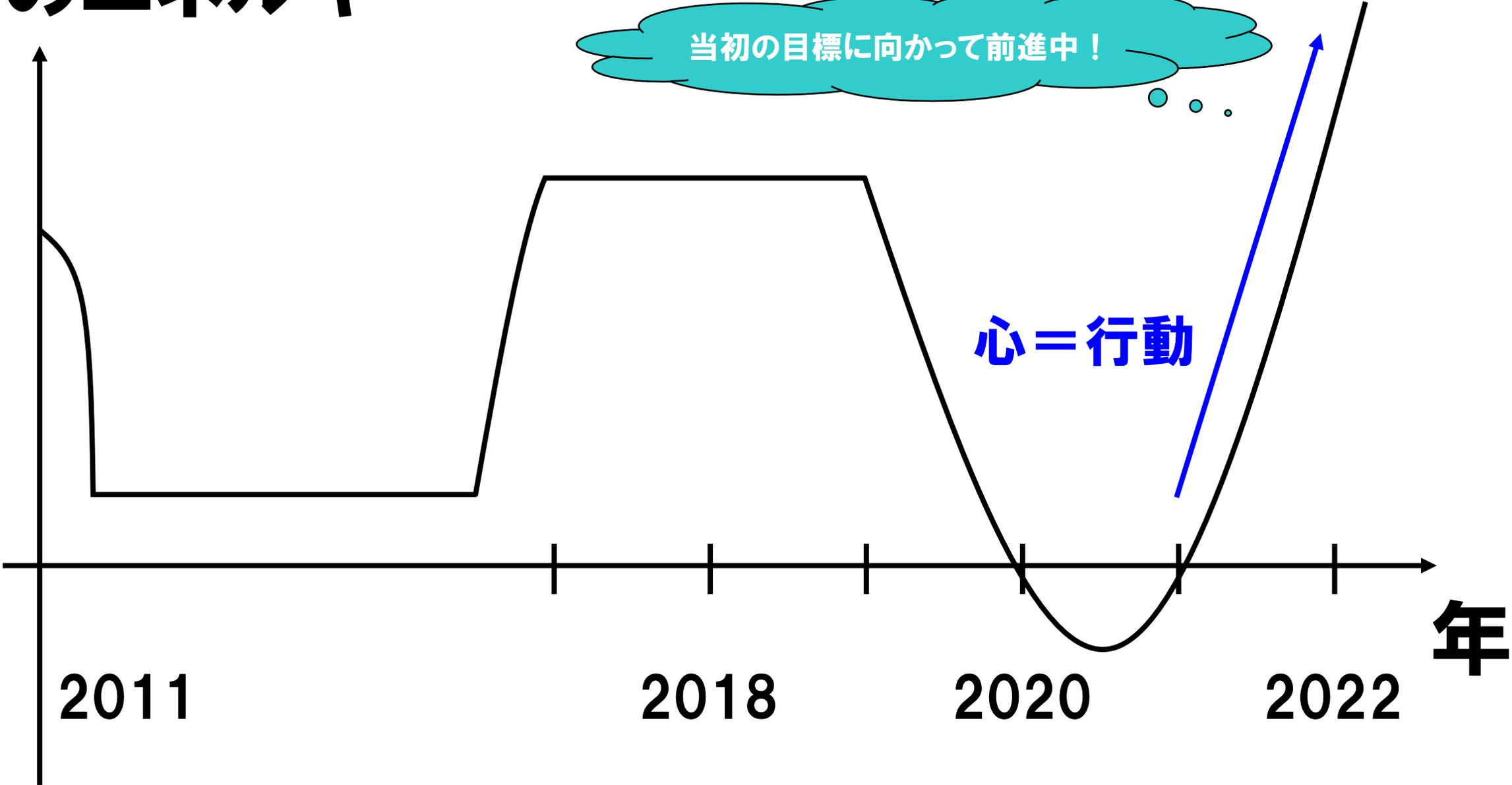
心のエネルギー



心のエネルギー



心のエネルギー

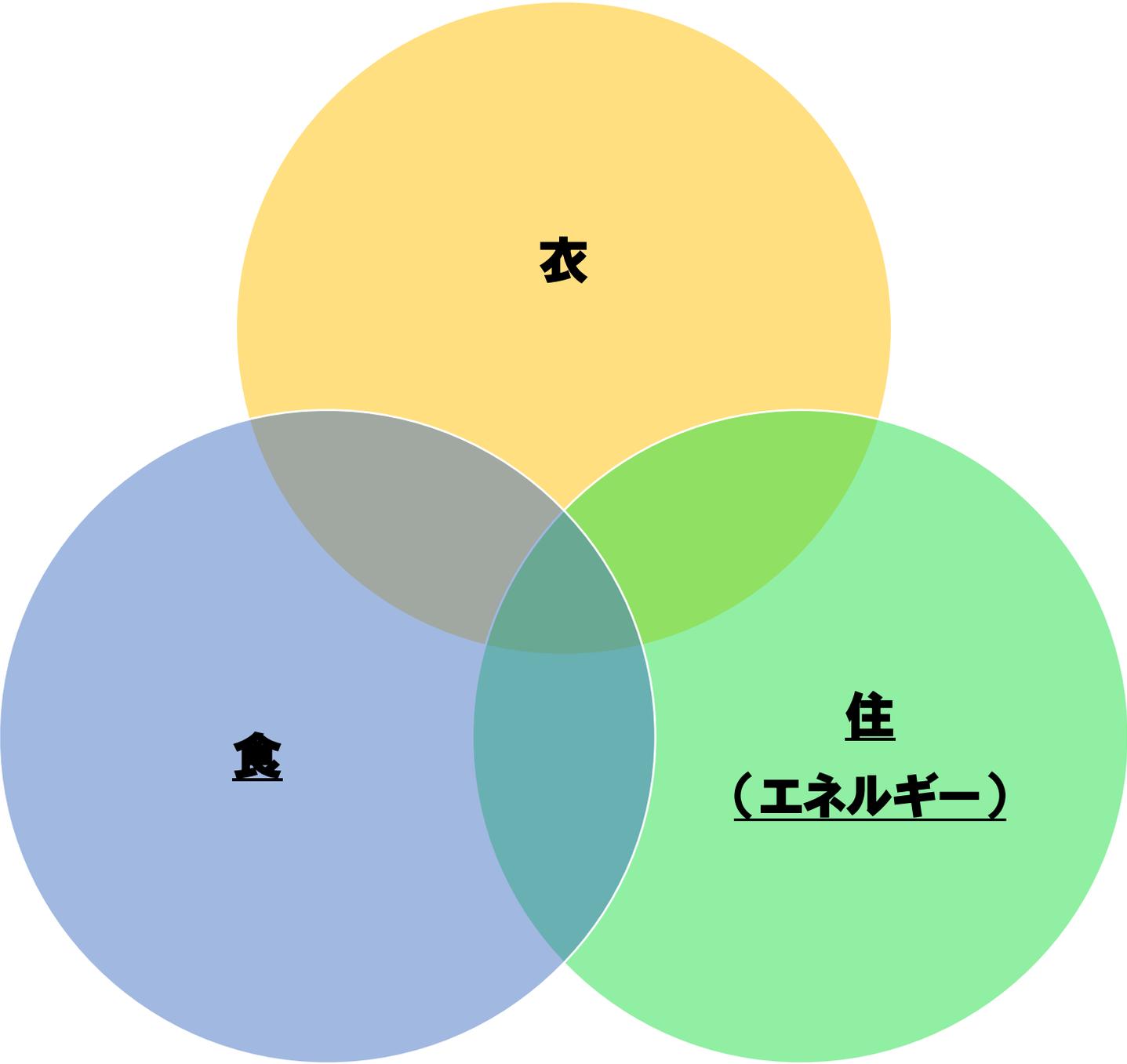


10年前に設定した長期的な目標

**レジリエンスの高い町
をつくりたい！**

私が思う

レジリエンスの高い町とは？



自給自足

レジリエンスの高い町

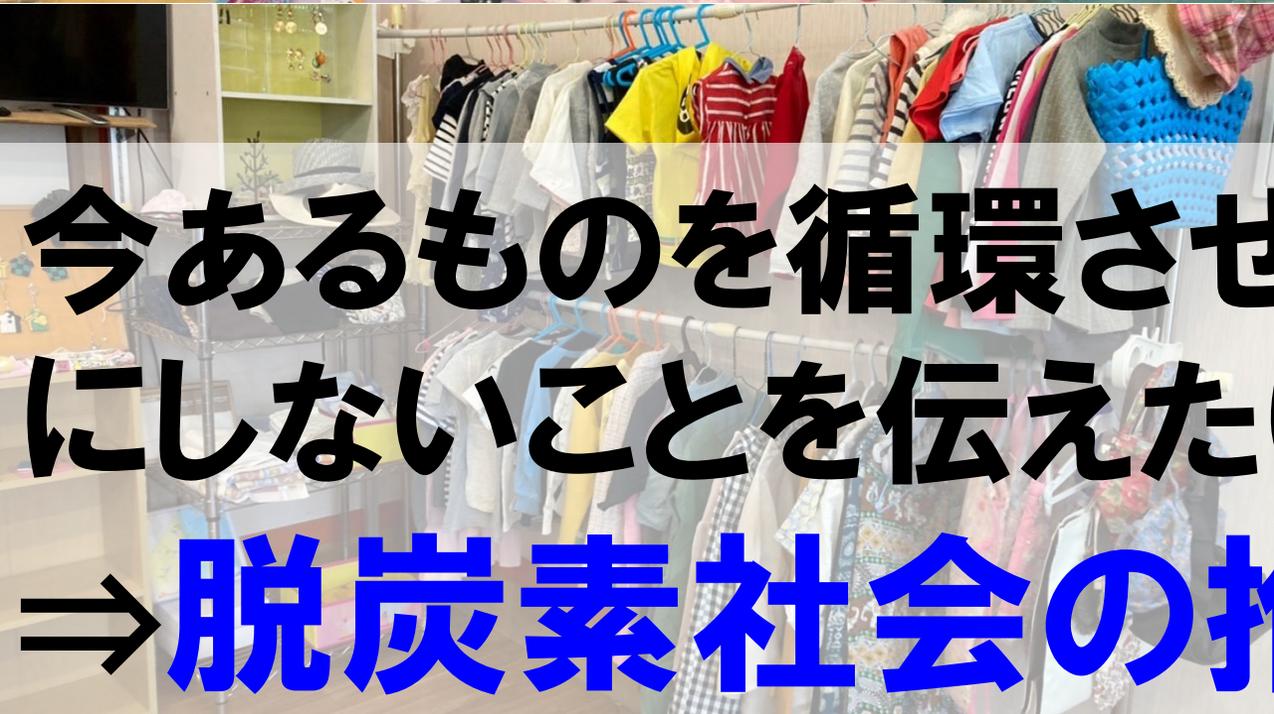
衣に関する取り組み

12 つくる責任
つかう責任



くるくるSHOPとは？
まだ使えるけど、使用していない
ものを集めて、必要なものは
100円でいくらでも持ち出し
可能としたお店

衣に関する取り組み



くるくるルール 

☆持ち出し品は何でも
410!!

☆持ち出し品の重さを
はかり、重量と名前を
台帳に記入して下さい!

☆持ち出し品は、
リユースとなり、
母が有源にばりました!

持ち込み品について

☆台帳と写真NGX

☆極端な汚れや破損
があるものNGX

☆おうちにねらっている、不要だけど
まだ使えるもの、お持ち下さい! 😊

今あるものを循環させることで、物を無駄
にしないことを伝えたい

⇒ 脱炭素社会の推進!

CO₂

CO₂

CO₂

CO₂

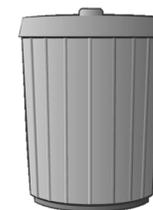
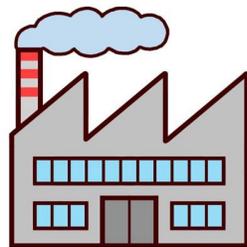
原材料調達

開発・生産

輸送

使用

廃棄



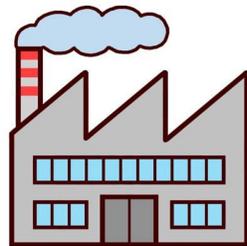
CO₂

原材料調達



CO₂

開発・生産



CO₂

輸送

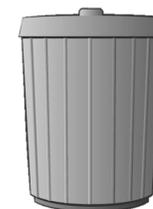


使用



CO₂

廃棄



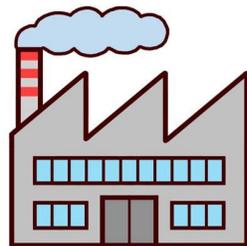
CO₂

原材料調達



CO₂

開発・生産



CO₂

輸送

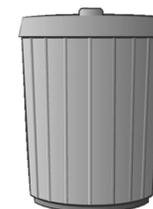


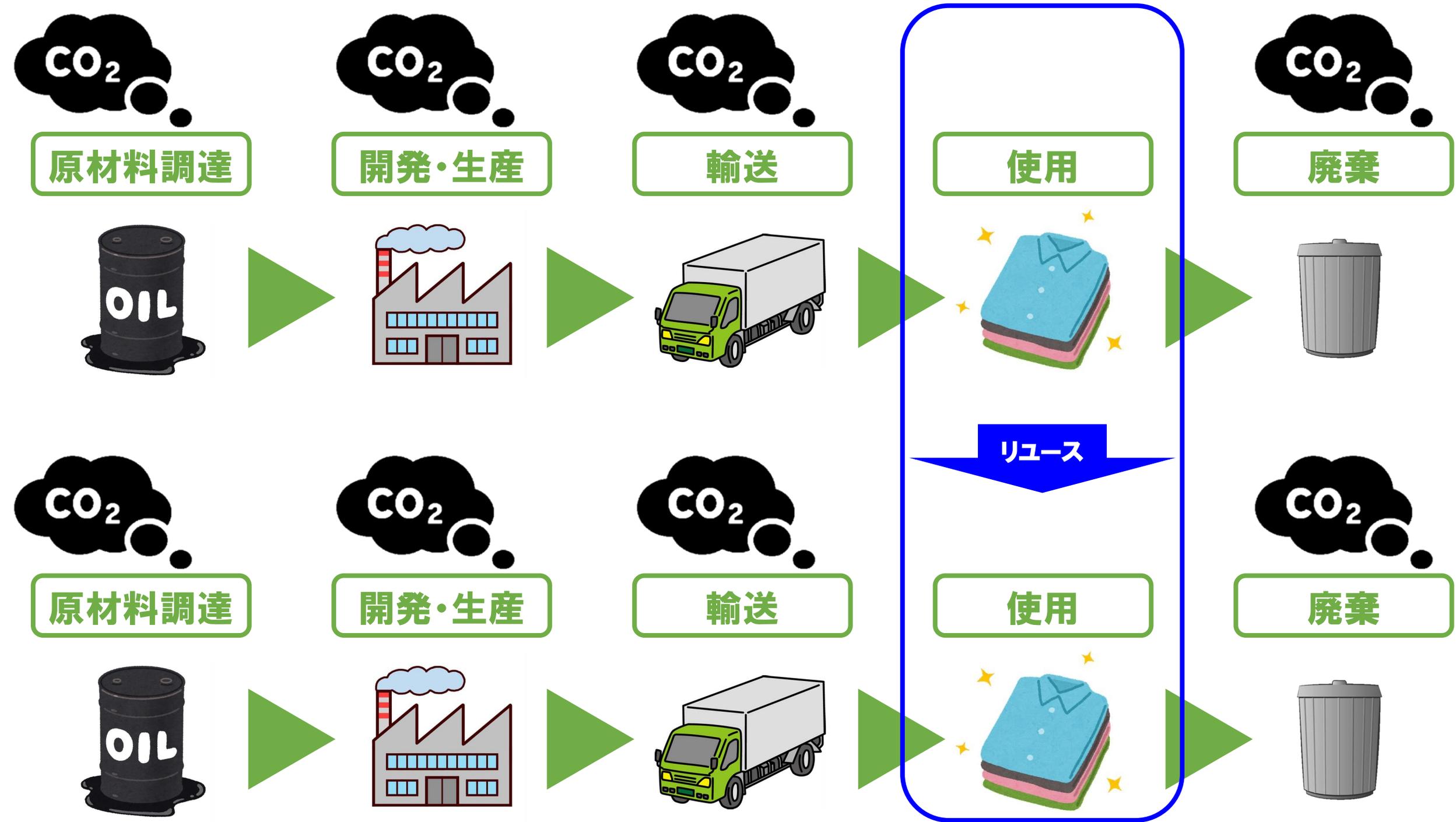
使用

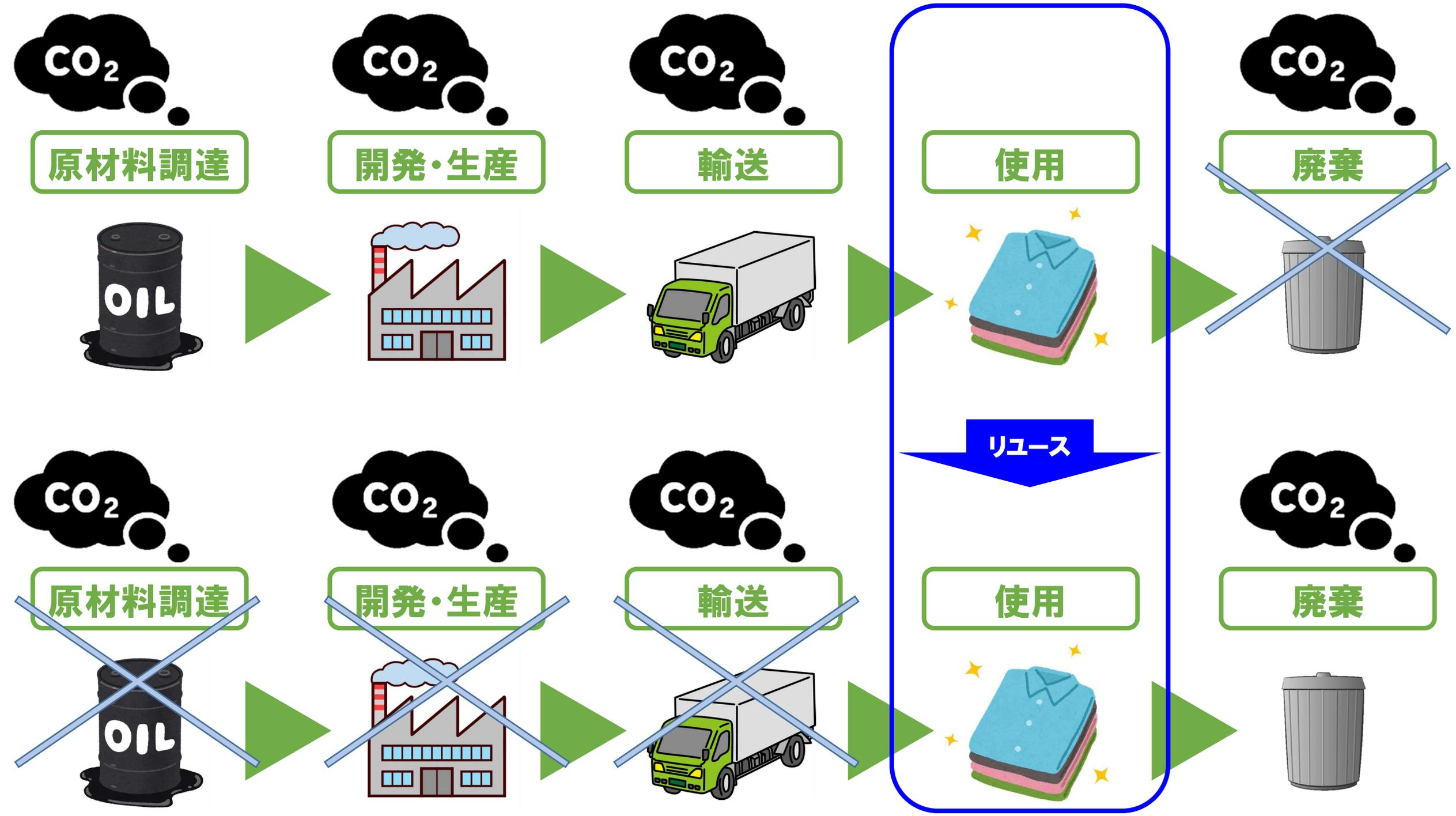


CO₂

廃棄









毎週日曜日
10:00～15:00

◀くるくるSHOP
※Google Mapで産直ホープ館
つばきと検索してください



◀地域おこし協力隊 のInstagram

毎週くるくるSHOPの
情報を更新します

食に関する取り組み

11 住み続けられる
まちづくりを



まずは、田んぼ、畑仕事のお手伝いから！
ゆくゆくは自分たちで農業を実践し、食の
自給自足を図る

⇒ **担い手不足の解消**にも貢献

住(エネルギー)に関する取り組み

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



地域資源を活用した再生可能エネルギー
の地産地消を達成するために地域新電力
の立ち上げ業務の一部を担当

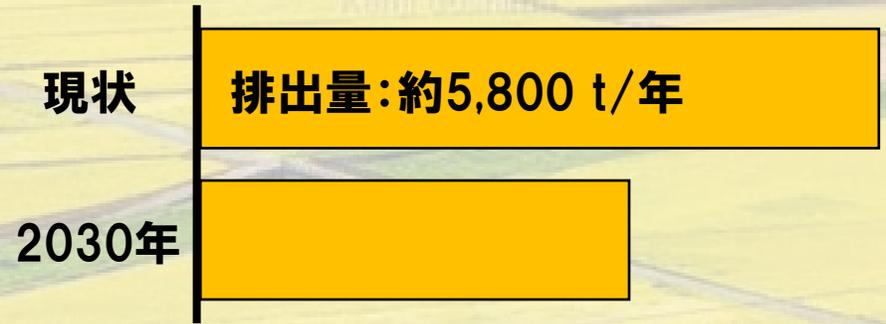
⇒ **脱炭素社会の推進!**

住(エネルギー)に関する取り組み

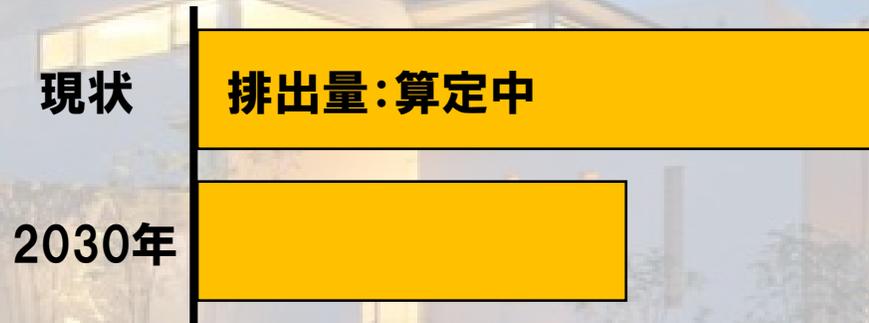
森林によるCO2吸収量



田畑からのCH4排出量



家庭からのCO2排出量



家畜からのCH4排出量



山形大学と協同で実施中

住(エネルギー)に関する取り組み

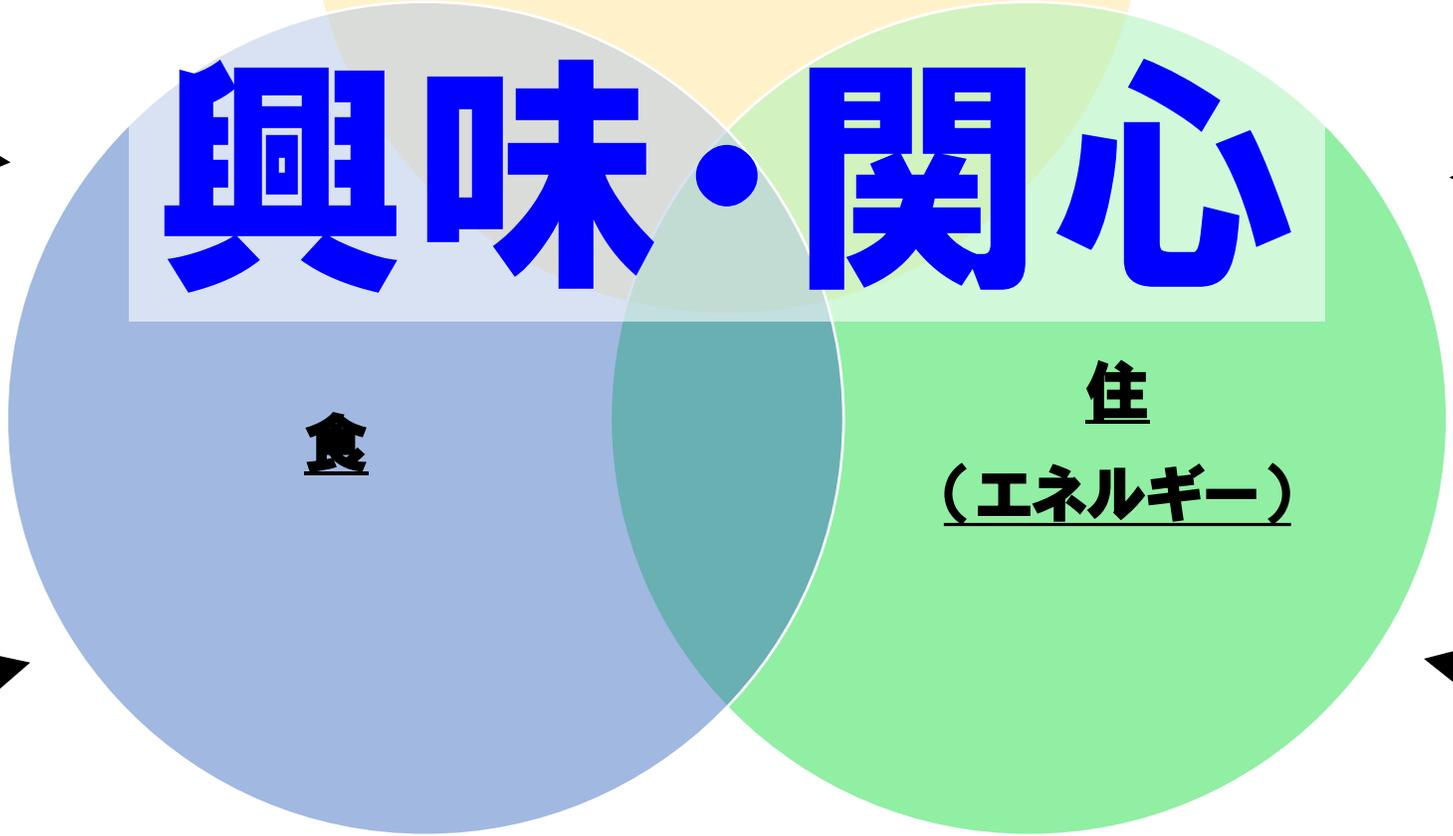
15 陸の豊かさも
守ろう



森林保全活動団体への参入することで
森林の機能を保持に貢献
⇒担い手不足の解消や
脱炭素社会の推進にも貢献



衣



興味・関心

食

住
(エネルギー)



興味・関心につなげるための取り組み

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



SDGs / ゼロカーボン講演を実施！
情報を整理して伝えたり、身近な例を取り
上げることで浸透しやすくすることを意識

興味・関心につなげるための取り組み



ゲーム感覚で楽しく

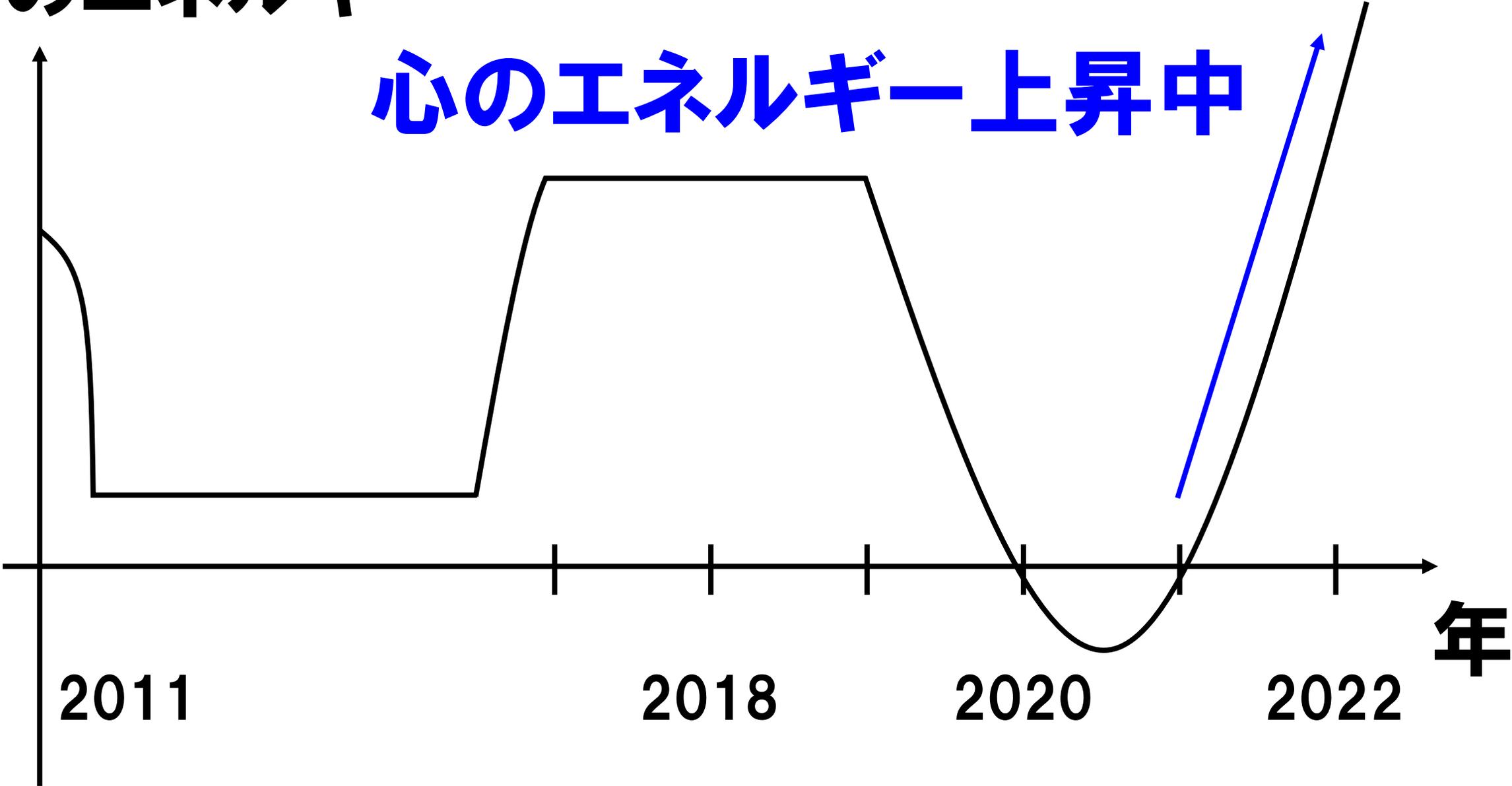
SDGsを意識した町づくり

を体験してもらいました。



心のエネルギー

心のエネルギー上昇中

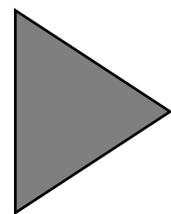


大事なことは

心 = 行動

となっていること

**そのために
自分の心と向き合って
行動に移すための
目標設定をすることが大事！**



高い心のエネルギー

私の経験を踏まえた メッセージ

日本人の多くは選択に受動的的です。

**理系、文系を決めることや
大学の学部を決めることにも
偏差値と世間の相場観で
受動的に決まることが多く、
そのまま、自分の「軸」がないまま
就活に臨む人が多いです。**

実際に、私がそうでした。

**ただ、それだと、
心が持続可能になりません。**

**とはいえ、「軸」や「目標」を設定することは
大きなことで、中々見つからないし、
難しいと思うかもしれません。**

**目標は最初から大きくする
必要はありません。
小さいところから少しずつ
広げていってください。**

**また、見識が広がるにつれて、
目標は変わるものです。
気負う必要はありません。**

**大学4年間という期間は時間もあり、
自由度も高い貴重な期間です。**

**ぜひ、この期間を有効活用して、
自分と向き合ってみて下さい。**

悩むことも多いと思います。

それでも

「悩んだ分だけもっと高く飛べる」

はずです。

**ぜひ、この後、
自分の心と向き合う時間を
作ってみてください！**

**心を満タンにして持続可能に
していきましょう！**

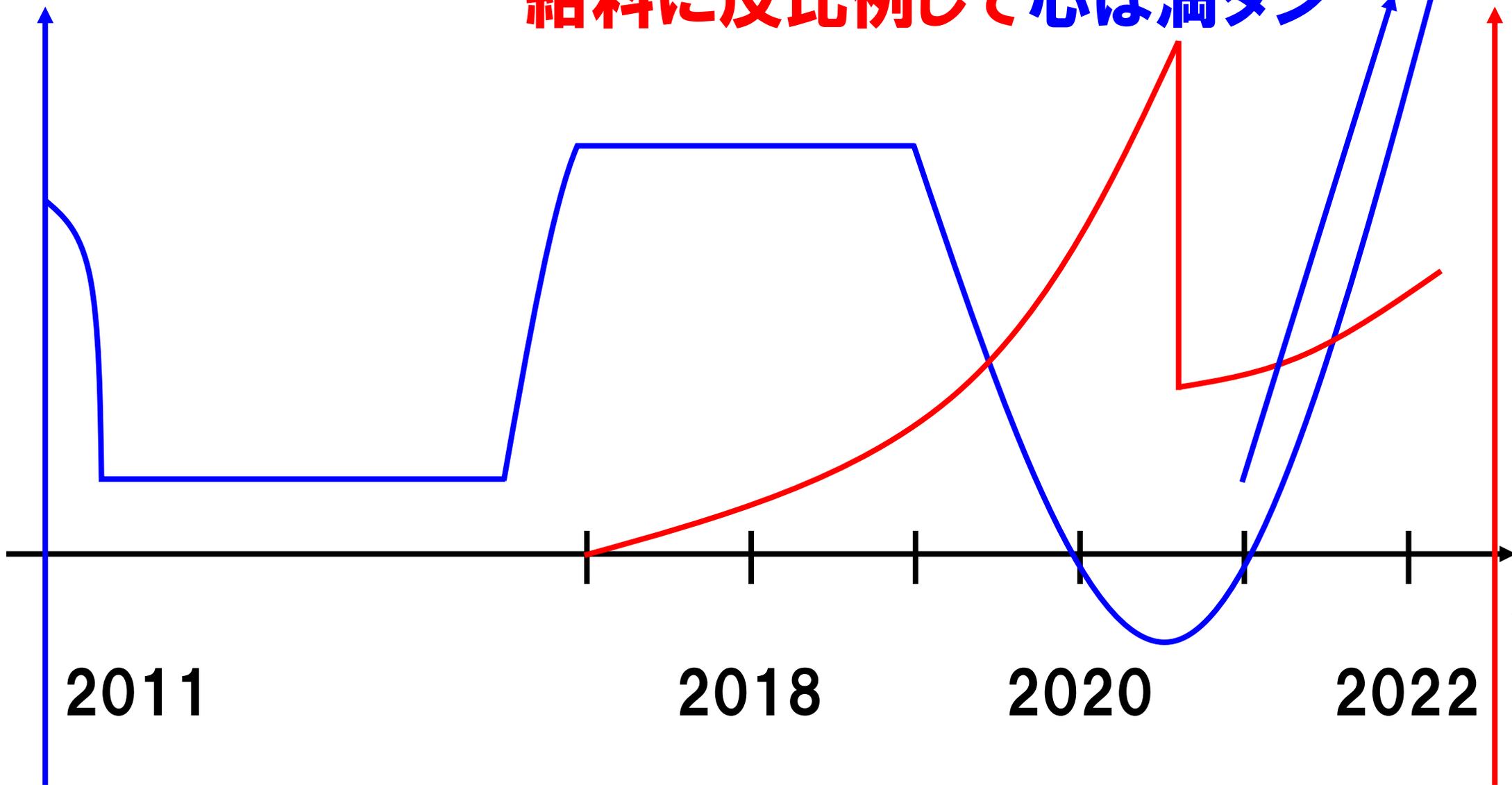
補足資料

利己は突き詰めると利他になり
利他は突き詰めると利己になる

心のエネルギー

お金

給料に反比例して心は満タン



2011

2018

2020

2022

年

SDGs未来都市

山形県（飯豊町、鶴岡市、米沢市）



ゼロカーボンシティ宣言



飯豊町「ゼロカーボンシティ」宣言

～2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して～

近年、地球温暖化の進行やその影響による異常気象から、世界的に甚大な自然災害が頻発しています。飯豊町は、気候変動が暮らしの著しい脅威となっていることを認識し、気候非常事態宣言を発し、この危機的な状況に向き合い、脱炭素社会・循環型社会に向けた取り組みを強化することとしました。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。その後、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする必要がある」と示されています。

飯豊町は、町民や事業者、行政が一体となって、町が掲げるSDGs未来都市計画、バイオマス産業都市構想及び飯豊電池バレー構想の実現と、先人の努力と知恵により受け継がれてきた「日本で最も美しい村」の豊かな暮らしを次世代へ持続的に引き継いでいくため、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを宣言します。



令和2年12月15日

飯豊町長 後藤 幸平

後藤武蔵 地域おこし協力隊SDGs普及員

1991年生まれ 飯豊町出身

2016年 東北大学大学院
環境科学研究科卒

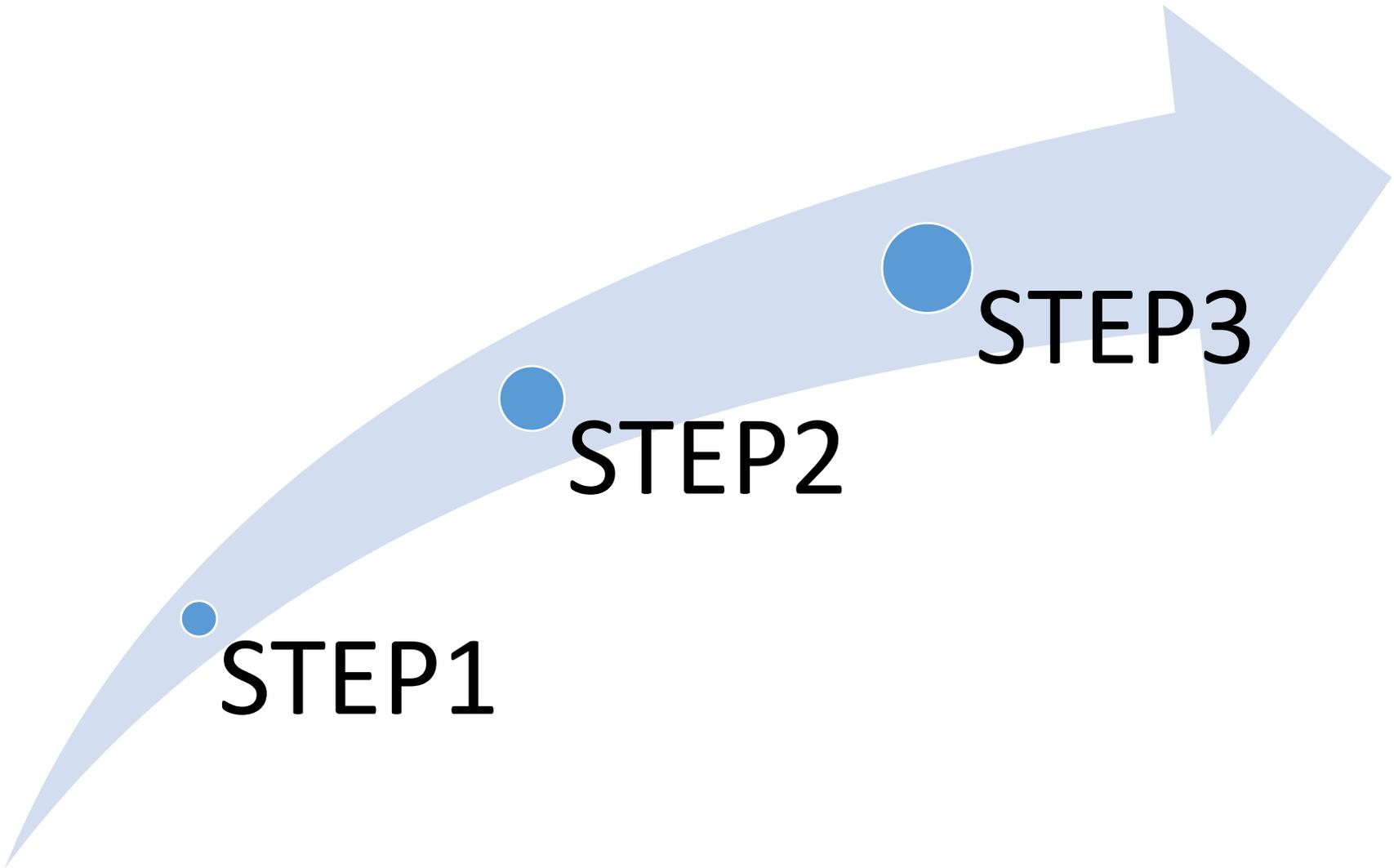
同年 トヨタ自動車入社
エンジニアとして6年間、
自動車部品の設備立ち上げを実施

2021年 地域おこし協力隊としてUターン



まずは目の前の目標設定
⇒徐々に遠くを見る

START



STEP1

STEP2

STEP3

GOAL